

宮城野地区民生委員児童委員協議会

(平成 26 年 9 月)

宮城野地区は、区の南部に位置し、14 町内会、約 5,000 世帯で構成されています。近年、高層マンション、ワンルームマンションが増え、昔からの世帯と混在している中で、特に東側が卸町と隣接し、都心に近く通勤に便利なこともあって、サラリーマンや学生の単身世帯が急増しています。民生委員・児童委員は、主任児童委員 2 名を含む 28 名です。

平成 23 年 3 月 11 日、あの大地震の日、発災後すぐに私たちはそれぞれ担当の一人暮らし高齢者世帯や高齢夫婦世帯などを訪問し、とりあえず皆さんが無事であることを確認しました。

ライフラインは、電気は 3 日後、都市ガスは 1 か月後に復旧しました。水道は一般住宅に関してはほとんど断水することはなかったのですが、高層マンションでは停電のためにエレベーターが使えず、一階まで水を汲みに降りなければならなくなってしまいました。特に高齢者世帯には大きな負担になったので、区社協の災害ボランティアセンターを通じて、学生さんに応援に来ていただいて、とても助かりました。高齢者世帯の家の中の片付けも、私達と共に行なっていただいたボランティアの方がたには、本当に感謝しています。

町内会の中には、あの日の夕方、雪の降る中を不安げに集まって来た人たちのために、指定避難所にはなっていない集会所を会長の判断で解放した所が少なからずありました。指定されていないので不便なことが多々ありましたが、お互いの協力で乗り切ってきました。

地区には、指定避難所が何か所かありますが、高齢者や障がい者の方がたは、そこまで歩くのが大変で、一時避難所の大切さを痛感しました。

○ その後の活動について

この地区には、プレハブ仮設住宅はありません。みなし仮設住宅にお住まいの方も 10 数世帯です。

昨年、一人暮らし高齢者を昼食会にお招きしました。出席されたのは 2 名だけでしたが、喜んで帰られましたので、今後も続けたいと思っています。

民児協の事業として、南三陸町を訪問させていただきました。語り部の方から、震災当時のつらい体験、復興はまだまだというお話を伺い、私たちはこのことを決して忘れてはならない、語り継いでいかなければならないと、強く感じています。

○ 防災訓練について

単位町内会ごとに、実施している地区が増えてきました。

当然のことながら、一人ひとりの防災意識を高め、地域の顔見知りを作っていくことが何よりも大事なことと思っています。今年度は、宮城野地区としての防災訓練が予定されています。

○最後に

全国の皆様からいただいた温かいご支援に深く感謝いたします。

本当にありがとうございます。